

tema *STYLE*

Traditional Espresso Machine

取扱説明書



目次

安全上のご注意	3
主な仕様	4
始動方法	5
抽出方法	6
美味しいエスプレッソの作り方	7
清掃方法	8
調整方法	9
警告について	9
特別なメンテナンス	10

安全上のご注意（安全に関する重要事項です必ずお読み下さい）

本製品を使用する際には、ご使用前に安全上のご注意をよくお読みになり正しくお使い下さい。

表示されているマークの説明



警告

この表示は誤った取扱いすると人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。



注意

この表示は誤った取扱いすると人が傷害を負ったりその他の人的物的損害が起きる可能性があることを示しています。

一般的な注意事項



警告

- 製品の分解や修理は認定されたサービスマン以外では絶対に行なわないで下さい。修理や分解組立が正しく行なわれないと、製品が正常に作動せずに水漏れや感電や火災などの原因となります。また、本体を改造することも絶対に行なわないで下さい。 水漏れや感電や火災の原因となります。
- 異常が発生した場合には、速やかに電源スイッチを切り、本体の電源コードを抜いてください。そしてすぐに販売店もしくはサービスセンターに連絡をして下さい（電源をコード抜く時には感電をしたり火傷をしないようにして下さい。）
- 本体の内部にある部品や電気配線や配管などには手や体を接触させないで下さい。 火傷や感電の原因となります。
- この製品が原因でサーキットブレーカーや漏電遮断機が作動をした可能性があるときには速やかに電源を切り販売店もしくはサービスセンターに連絡をして下さい。 そのままで使用すると感電や火災などの原因となります。
- 本体に水がかかったり付近でガス漏れの可能性がある場合には直ちに使用を止めてください。ガス漏れの際には使用されているガス器具の注意事項に従って引火や爆発の危険を避けてください。
- 製品を移動する場合には、電源につながれていないこと、本体内部に水やコーヒー豆、コーヒーかすが無く、十分に冷えていることを確認して行なってください。火傷や感電の原因となります。



注意

- 電気製品を使用する際には火事、感電、怪我の危険を避けるために、常に安全のための基本的な注意事項を守ることが大切です。 電気製品を取り扱う際の一般的な注意事項に従ってご使用下さい。
- 製品の点検やお手入れをする時には、必ず主電源を切り電源コンセントを抜いて行なってください。 感電や火傷怪我の原因となります。
- 電源コードをコンセントへ抜き差しする時には電源コードの取扱いに十分に注意をして下さい。 また、電源コードに人や物が絡まったり、つまづいたり、踏まれたりしないようにして下さい。 感電や火災や怪我の原因になります。
- 長時間製品を使用しないときには、本体の電源スイッチを必ず切ってください。 また電源プラグをコンセントから抜いてください。専用コンセントをお使いの場合にはコンセントを電源から抜いてください。

- 表面が熱くなっている部分には触れないで下さい。火傷や怪我の原因となります。
- 火事、感電や怪我を防ぐために電源コード、プラグや電気製品を水や液体に浸さないで下さい。
- 子供が電気製品を使用するときは十分に子供を監督し、子供の近くで電気製品を使用するときには、細心の注意を払って下さい。
- 部品の取付、取り外し又は清掃をする時には十分に温度が下がった状態で行なって下さい。
- コードやプラグが傷んでいたり正常に動かない時には作動をさせないで下さい。
- 付属品以外のものを使用しないで下さい。 火事、感電や怪我の原因になることがあります。
- 野外では使用しないで下さい。
- 電源コードが卓上、カウンター上又は表面が熱くなる場所の上などに垂れ下がらないようにして下さい。
- ガスコンロ、電熱器や熱くなったオーブンの上やそばに置かないで下さい。
- マシンの電源スイッチをOFFにしてから電源コンセントからプラグを取り外して下さい。
- 本来の目的以外には使用しないで下さい。
- スチームやお湯が抽出されている時には十分に注意をして下さい。火傷や怪我の原因となります。
- このマシンは 業務用のマシンです。

設置及び据付時の注意事項



- 本体に供給する電源の工事を行う場合には電気設備工事の専門技術者が行い、電源の容量が不足したり設備工事に不備が無いようにしてください。感電や火災の原因になります。
- 据付を行なう時には本体の電源コードが損傷をしたり、無理な配線をしたりしないようにして下さい。電源コードが傷んだままで使用をすると感電や火災の原因になります。



- 設置及び据付を行なう際には本体を落下させたり倒したりしないで下さい。 落下や転倒などにより怪我の原因となります。
- 据付をする場所は平坦で水平な場所で、十分に製品の重量に耐えられる場所に設置してください。 不安定な場所に設置をすると落下や転倒などにより怪我の原因となります。
- 天然木や天然石の上に置く場合には、マシンの洗浄中に水滴や飛沫が飛散して表面を汚したり変質の原因となることがあります。水や洗浄液飛沫がついても影響の無い材質の上に設置したり、直接当たらない様に保護を行なってください。
- 設置周辺温度が33℃以上になる場所、直射日光が常に当たる場所、埃や塵が多い場所、湿気が高い場所、振動がある場所などには設置をしないで下さい。内部の電気部品などの故障の原因となります。

- 本体の周囲に熱がこもらない様に周囲の壁や家具や機器などから 10 cm以上離して設置してください。熱がこもると電気部品などの故障の原因となります。

操作を行なう時の注意事項

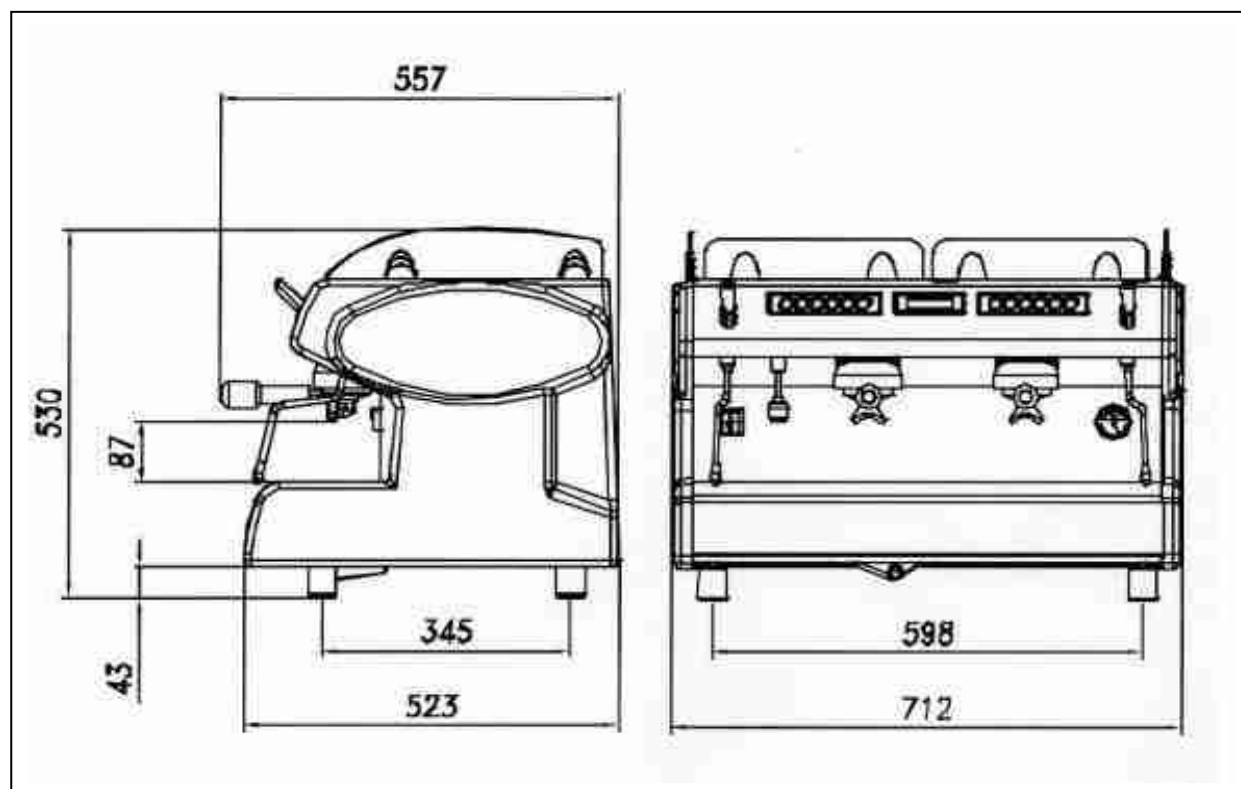


- スチームや熱湯の抽出操作を行なう前にはノズルの向きに注意をして下さい。火傷や怪我の原因になります。 また、使い終わった時には誤操作により噴出した熱湯やスチームを浴びないようにノズルの位置を排水トレイ方向に向けてください。
- 顔や手に熱湯やスチームがかからないようにノズルの位置に常に注意をして取扱いを行なってください。
- スイッチや電源プラグを水に濡れた手で操作をしないで下さい。感電の危険性があります。
- ミルク系統の洗浄は規定どおりに実施してください。 洗浄を行わず放置しておくともミルク系統内に残ったミルクに細菌が繁殖して衛生状態を悪化させます。



- （注）お湯でなく必ず水を給水してください。
- （注）水以外の飲料（例えばミルクなど）やミネラルウォーター類は使用しないで下さい。

主な仕様



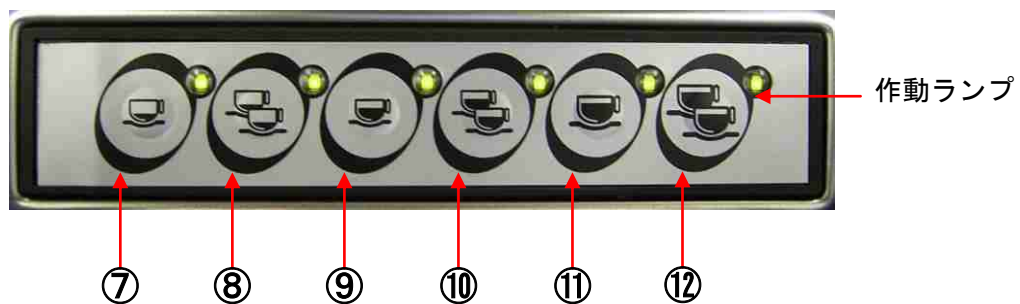
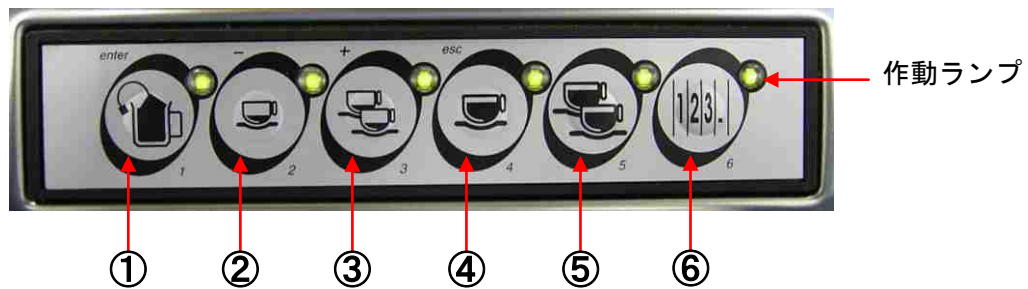
最大抽出能力（１時間当たり）	280
幅（mm）	712
高さ（mm）	530
奥行（mm）	557
満水重量（kg）	67
ボイラー容量（リットル）	13.5
熱湯ノズル	1
蒸気ノズル	2（ミルカー含む）
標準型タンク・ヒーター（W）	2,660
定格電圧（V）	単相 200

使用材料：	・ 銅	= ボイラー、配管
	・ 強化シリコン	= 給水ホース
	・ 強化シリコン	= 加圧ポンプ用配管
	・ 真鍮（クローム鍍金）	= 抽出グループ
	・ 真鍮	= 熱湯、蒸気コック、配管接続金具
	・ 鉄	= 本体

このマシンには、排水受け皿から直接排水管に排水を流すために必要な、排水ホースと金具が付属品として入っています。

tema STYLE 型の操作パネル

抽出ボタン	機能
①	熱湯 / ENTER
②	エスプレッソ 1 杯
③	エスプレッソ 2 杯
④	コーヒー 1 杯
⑤	コーヒー 2 杯
⑥	手動/クリーニング
⑦	エスプレッソ 1 杯
⑧	エスプレッソ 2 杯
⑨	コーヒー 1 杯
⑩	コーヒー 2 杯
⑪	ロングコーヒー1 杯
⑫	ロングコーヒー2 杯



(注) マシンの仕様銘板は、マシン自体の前面に取り付けてあります。

始動方法

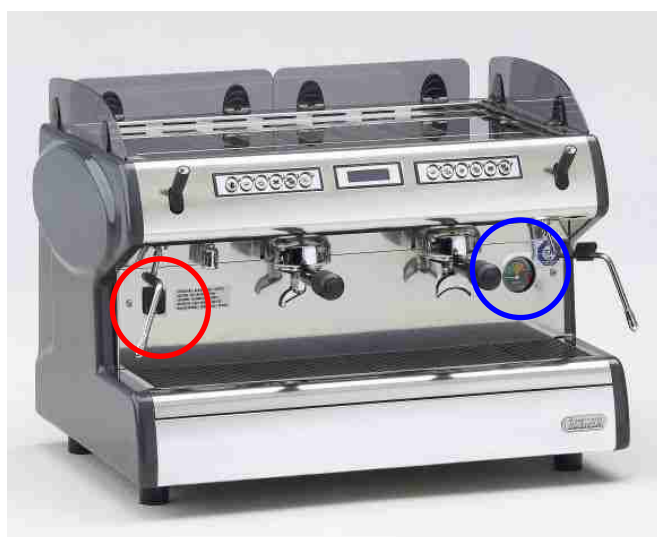
はじめに水道元栓が開いていることとコンセントが電源に差込まれていることを確認して下さい。

1. 電源スイッチを入れる

本体正面左の電源スイッチを入れます。

すると自動的にボイラータンクに給水を行います。(給水時には給水ランプが点灯します)

自動給水が終わりますと自動的にヒーターの電源が入ります。



電源スイッチ



圧力ゲージ



ウォームアップの完了

ヒーターに電源が入ってから約 25 分経ちますと、ボイラーが沸き上がり使用可能になります。

この時、圧力ゲージの黄色い針が 1.0 bar 以上を示しているか確認して下さい。

圧力は最大 1.2 bar で設定を行っております。

注意：ウォームアップ中でも各抽出ボタンを抽出は可能ですが、温度が低いので抽出を行わないで下さい。

抽 出

（１） コーヒー抽出

抽出ノズルの下にカップを置き、抽出ボタン②～⑤・⑥～⑫何れか一つを押します。
設定した量のコーヒーが抽出されると、自動的に止まります。
TEMA STYLE の場合は 2 連同時抽出することも可能です。

（２） コーヒー手動抽出

抽出ノズルの下にカップを置き、
適量まで達しましたら再び抽出ボタン⑥を押して抽出を止めます。
注意：このボタンで抽出を行った場合は再びボタンを押すまで抽出をし続けます。

（３） 熱湯抽出

熱湯出口の下にカップを置き、抽出ボタン①を押します。
設定した量の熱湯が抽出されると、自動的に止まります。

（４） 蒸気抽出

飲料（牛乳など）の加熱は次の様に行います。

スチームノズル/ミルク（オプション）

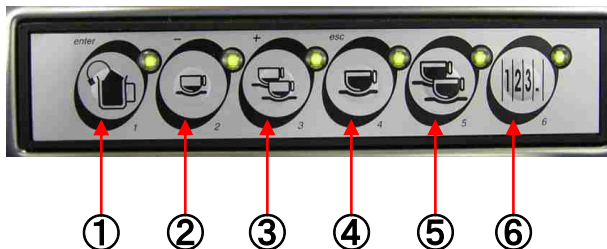
蒸気コックのレバーをゆっくりと開き、それからノズルを飲料に差し入れます。

飲料が温まりましたら、蒸気コックのレバーを元に戻します。

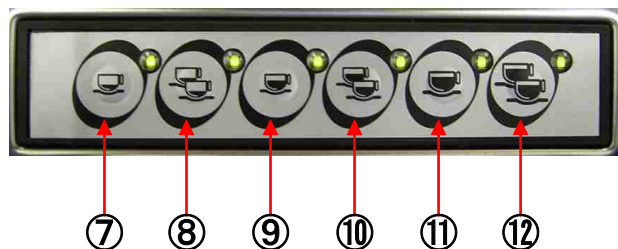
使用後は蒸気コックのレバーを少しの間開き、ノズル内に入った液体を放出します。

これは、牛乳等の飲料がボイラーまで吸い込まれてしまうのを防ぐために非常に重要な操作です。

スイッチパネル（左）



スイッチパネル（右）



蒸気コックレバー

熱湯ノズル



蒸気コックレバー

蒸気ノズル

美味しいエスプレッソの作り方

美味しい味を出すには、コーヒー粉の物理的状态が基本となります。

コーヒーの状態	抽出が遅すぎる	抽出が速すぎる
コーヒー粉の量	多すぎる	不十分
コーヒー粉の圧縮	強すぎる	不十分
空気の湿度	高すぎる	低すぎる
ミルの挽き目	細かすぎる	粗すぎる
フィルターの状態	部分的目詰まり、汚れあり	摩耗で穴が大きすぎる

最初に1杯のコーヒーを作る準備をします。

ホルダー内のメタルフィルターに適量のコーヒー粉を入れ、プレッサーで押さえます。

このエスプレッソマシンには、プレッサー1個、計量スプーン1個が標準付属品になっています。

抽出と挽き目の設定は個々のマシンの状態やどんな味加減のエスプレッソを抽出したいかによって調節します。

コーヒー粉量が多すぎるとフィルターホルダーを抽出口にはめ込むことが出来ません。

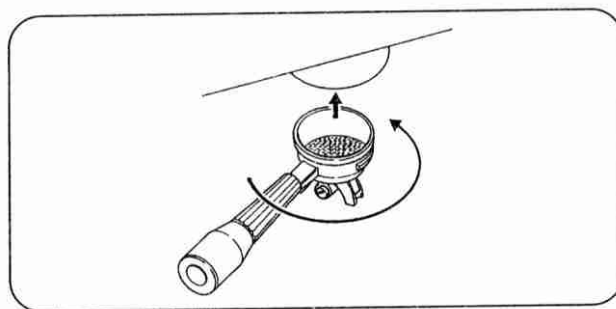
逆に少なすぎると、コーヒー粉に水気が多く残ってしまいます。

完璧な味のコーヒーを作るためには、コーヒーマシンと共に一定量のコーヒー粉を出すことのできるコーヒーミルの使用をお勧めします。これによって、コーヒーの味は一層良くなります。

そして常に挽き立てのコーヒー粉を使用するので、良い味をコンスタントに保つことができます。

フィルターホルダーをはめるには、下図のようにハンドルの向きを斜め左にして抽出口にはめて右方向へハンドルが正面に来て止まるまで回します。

フィルターホルダーのはめ方



抽出後のコーヒーカスを捨てる時は、ホルダーを軽く木製等のゴミ容器の縁に打ち付けて下さい。金属製のものに打ち付けると、メタルフィルターの縁を損傷してしっかりとハマらない様になります。

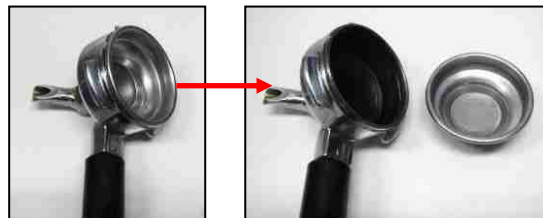
清掃方法

グループとフィルターホルダーの清掃

この清掃は必ず毎日営業終了後に行ってください。

(1) フィルターホルダーの清掃

- ① フィルターをホルダーから外して水洗いをします。
- ② コーヒーがこびり付いている時は布やスポンジで拭き取ります。
- ③ フィルターが目詰まりで洗ってもとれない場合は、火の上に下向きにかざすことによってすぐに焼けて簡単に取り除くことができます。



注意：火で焼く事を余り頻繁にやり過ぎるとフィルターを損傷します。

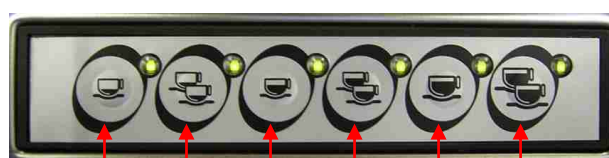
(2) グループの清掃

- ① 2杯取り用フィルターホルダーの中に付属品の清掃用ディスクを入れます。
- ② マシン本体にフィルターホルダーをセットします。
- ③ 左グループの清掃は、左側の抽出ボタンの何れかを押し、約10秒間抽出させます。
- ④ 同様に右グループの清掃は右側の抽出ボタンの何れかを押し、約10秒間抽出させます。



① ② ③ ④ ⑤ ⑥

左グループの清掃



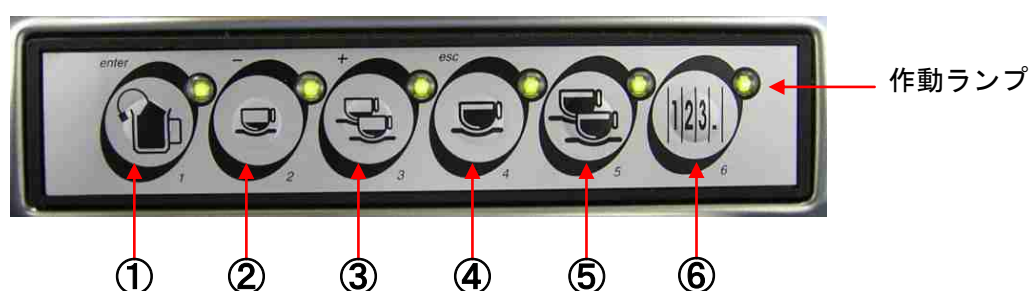
⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫

右グループの清掃

調整方法

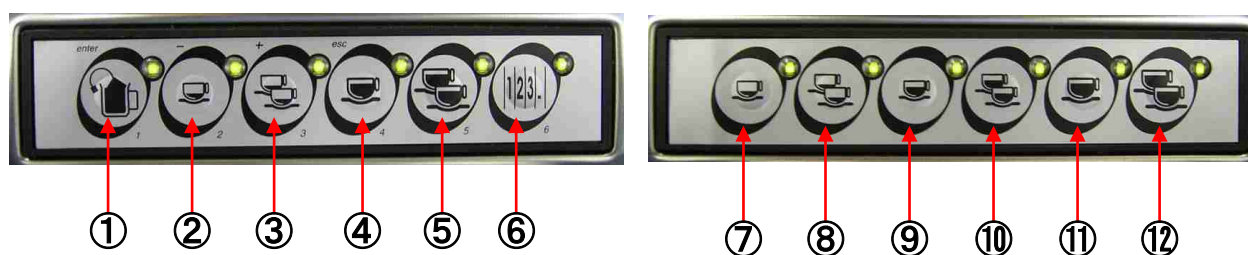
エスプレッソ抽出量のプログラム

- ① コーヒー粉を入れたホルダーをマシン本体にセットします。
- ② 抽出ボタン①を作動ランプが点滅を始めるまで押し続けます。(約 10 秒間)
- ③ 作動ランプが点滅を始めたら量調節を行いたい抽出ボタン②～⑥・⑦～⑫を押して抽出を始めます。
- ④ 抽出量が適量になりましたらもう一度同じボタンを押して抽出を止めます。
- ⑤ 自動的にメモリーに記憶されます。
- ⑥ 抽出ボタン①の作動ランプの点滅が終わりましたらマシンは自動的に設定した抽出量を記憶します。



警告について

TEMA STYLE 型はマシンに何らかの異常があった場合にランプが点滅します。



点滅する理由は例えば、

- ・ コーヒー粉の挽き目が細かすぎて抽出されない場合。
- ・ 水道元栓を閉じて抽出を行った場合。
- ・ 浄水器の目詰まりによる給水異常。

これらの項目を確かめて、電源を入り切りしてもう一度試してください。
再び作動ランプが点滅を行う場合は、サービスコールをしてください。

特別なメンテナンス

エスプレッソマシンを正しい状態で使用するためには、軟水器/浄軟水器（水の硬度を下げる）のご利用、消耗品の定期的交換（有料）をお薦めします。

各消耗パーツの交換次期は次の通りです。

- ・ ホルダーガasketを、3～6 ヶ月毎に交換する。
- ・ 蒸気及び熱湯の電磁弁のガasketを、6 ヶ月毎に交換する。
- ・ スチームノズルのジョイント部分のガasketを、6～12 ヶ月毎に交換する。

これら特別なメンテナンスは、メーカー指定のサービス業者が依頼をして行います。

保証とアフターサービス

1.保証書

- 本書に添付しています。
- 保証書は「お買い上げ日」の記入をお確かめのうえ、お受け取りください。
- 保証書をよくお読みになり大切に保管してください。

2.修理を依頼されるとき

取扱書の内容をお確かめいただき、コーヒーマシンが直らないときは電源プラグを抜いてから当社に修理についてご相談ください。

●保証期間中の修理

保証書の規定により無料修理致します。当社までお申し出ください。

●保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。当社にご相談ください。

3.アフターサービスについてご不明な場合

- アフターサービスについてのご質問等ありましたら、当社にお問合せください。

アフターサービスを依頼される場合は次の内容をご連絡ください。

- | | |
|-------|---------------------|
| ●お名前 | ●商品名 カリマリ ティマ スタイル2 |
| ●ご住所 | ●製造番号 |
| ●電話番号 | ●故障の症状、状況(出来るだけ詳しく) |

修理相談窓口 ブルーマチックジャパン株式会社 横浜：(045)947-0804 大阪：(06)6531-1333

受付時間(平日：8:00～18:00 土曜：9:00～17:00 左記時間外及び日祭日：留守番電話)

ご使用の際の注意事項

コーヒーマシンを常に最適な状態に保つために、定期的な清掃作業を行ってください。

清掃作業は取扱説明書に従い、コーヒー系統、ミルク系統、抽出口の洗浄をそれぞれ適切に行なってください。

一日の営業開始前及び終了後は取扱説明書に従い自動洗浄を行ってください。

ミルク系統の洗浄には、専用のミルククリーナーを使って洗浄を行なってください。

ミルククリーナー(液体)を使用するときには直接手や肌に接触しないようにして下さい。

コーヒー系統の洗浄には専用の清掃用ディスクを使って洗浄を行なってください。

洗浄剤は小さなお子様の手に触れない場所に保管して下さい。

必ず冷たい新鮮な硬度の低い水道水をお使い下さい。

また、ミネラル成分の多い水を使うとマシン内部にスケールが発生しマシンの性能を損なう恐れがあります。

使用中に、取扱説明書に書かれていない不具合が発生したら直ちに当社へご連絡下さい。

セミオートコーヒーマシン 保証書

形 名	カリマリ ティマ スタイル2
製 品 番 号	
製 造 番 号	
保 証 期 間	お買い上げの日より1年間
お買い上げ日	年 月 日
お客様お名前	
ご 住 所	
電 話 番 号	

無料修理規定

本書は、本書記載内容で、無料修理をさせていただくことをお約束するものです。

- 1 取扱説明書、本体添付のラベル等の注意に従った使用状況で保障期間内に万一故障をした場合には故障箇所の無料修理を行います。
- 2 保障期間内に故障をして無料修理を受ける場合には販売店もしくはサービスセンターに連絡をして下さい。
- 3 次のような場合は、保証期間内でも有償修理になります。
 - (1) 使用上の誤り、取扱説明書に記載してあるとおりの使用をしなかった場合。
 - (2) 取扱説明書に記載されている日常のお手入れを怠ったことが原因で発生した故障や損傷。
 - (3) 使用する水質、水圧等の不良が原因で発生した故障や損傷。
 - (4) 販売店以外で修理、改造などを行なったことが原因で発生した故障と損傷。
 - (5) 消耗品、付属品等の消耗による交換及び交換作業。
 - (6) 火災、水害、地震などの天災地変、塩害、公害、異常電圧、過電流など外部要因による故障及び損傷。
 - (7) 落下、転倒、水濡れ、打撲や本体内部の基盤が破損変形したことなどによる故障及び損傷。
 - (8) 車両などに搭載して使用したり、移動後に発生した故障及び損傷。
 - (9) 保証書の提示が無い場合、および保証書記載の製造番号と製品の製造番号が異なる場合。
 - (10) 保証書の記載内容が変更、書き換えられている場合。
- 4 本保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- 5 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

*この保証書は本書に明示した期間、条件の下において無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。ご不明な場合は当社にお問合せ下さい。

*保証期間は、お買い上げの日より1年間を過ぎた場合は無効となります。

*お客様にご記入いただいた保証書の内容を、修理・サービスに利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

*本製品の使用により、または故障により生じた直接・間接の損害については保証対象外とします。

輸入代理店

ブルーマチックジャパン株式会社

神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎東4-5-13

(045)947-0800 (代表)



ブルーマチックジャパン（株）

EDITION APRIL 2007